



2025年 6 月期 第 3 四半期決算説明資料

株式会社クオルテック 【証券コード：9165】



01

当第3四半期累計期間の売上高は、全体で前年同期比8.5%成長の3,055百万円。過去最高額を更新し、通期業績予想に対しては進捗率76.4%と着実に推移。当社の主要取引先である車載業界の技術開発は電動化を中心に各社旺盛な状況。電動化は半導体各社も巻き込んだパワー半導体の高効率化、小型化、低コスト化に向けた取組みが活発な状況であり、開発段階での信頼性試験における社外評価機関との連携が益々強化されている。そのような状況下で、当社は幅広い顧客ニーズにお応えすべく、信頼性試験増強を図りつつ受注を着実に積み上げ、主力事業である信頼性評価事業は前年同期比7.7%成長。(パワーサイクル試験は13.9%成長)

02

売上総利益の前年同期比は各セグメントともに売上を伸ばし5.8%の増益となるも、営業利益は成長戦略に向けた拡販体制強化、次世代半導体を中心とした研究開発を積極的に進めたことで、人件費及び研究開発費の増加が影響したことから▲13.6%の減益。しかしながら、通期業績予想に対しては進捗率90.0%と着実に推移。

03

通期業績予想に関して当社第4四半期に入り、主要顧客である車載業界を中心に、米国関税政策発動による業績見通しへの影響が顕在化し、今後の見通しについては予断を許さない状況ではあるが、各社技術開発の動向を注視しながら拡販活動を展開中であり、通期では当初業績予想(売上高、利益とも)を据え置き。

目次

- 1 | 決算概要
- 2 | セグメント別売上高
- 3 | 営業利益増減内容
- 4 | 四半期売上高推移
- 5 | その他経営数値
- 6 | 通期業績予想
- 7 | 附録（注意事項）



1. 決算概要

前年同期より増収減益。売上高は+238百万円で売上総利益は増益となるも、成長戦略に向けた拡販体制強化や次世代半導体を中心とした研究開発の積極推進に伴う先行投資により営業利益は▲54百万円。経常利益は営業外損益影響が+13百万円となり▲40百万円。四半期純利益は特別損益及び法人税等影響が▲5百万円となり▲45百万円。

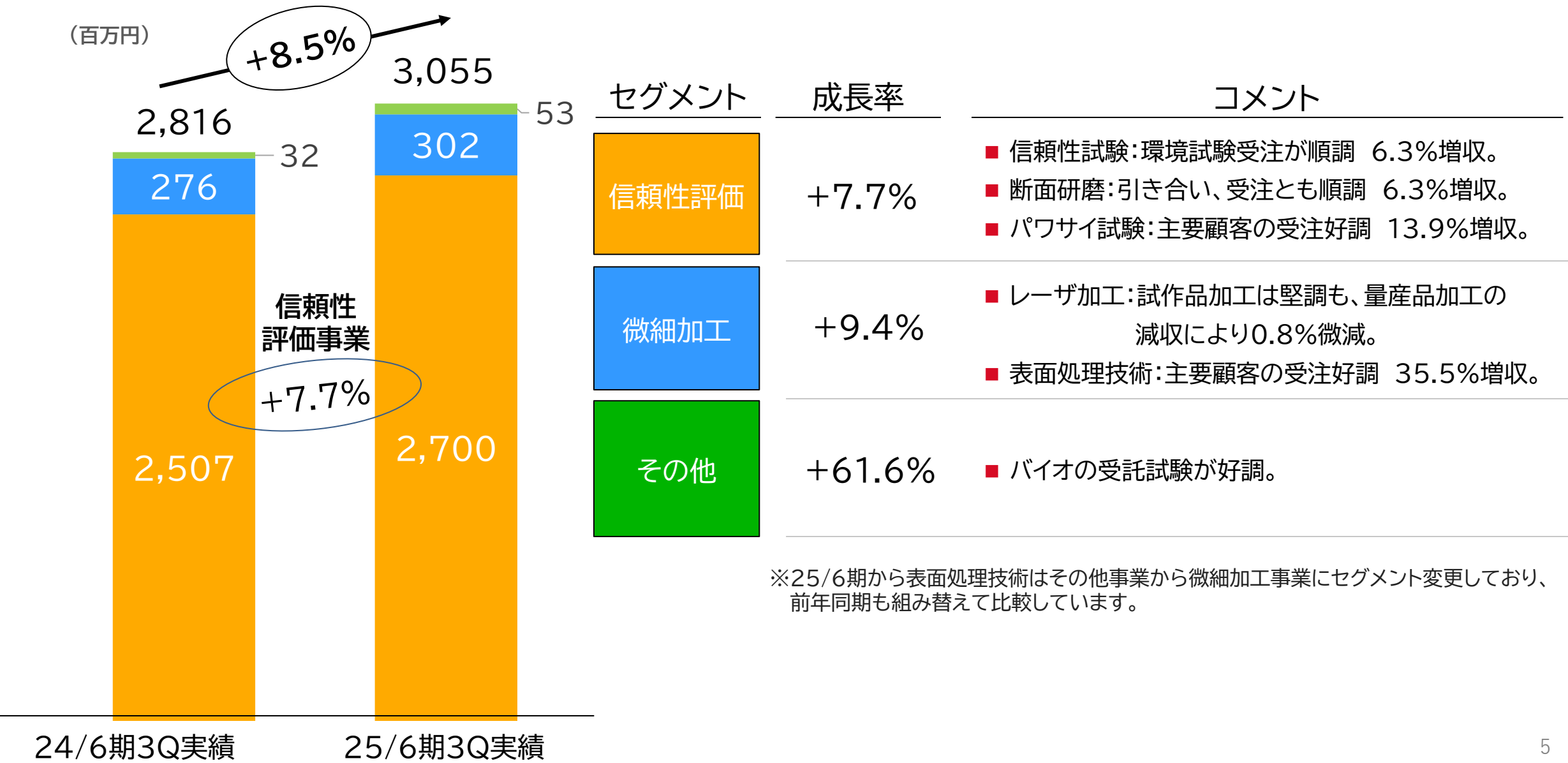
【単位:百万円】（ ）内は売上高比

	24年6月期 3Q実績		25年6月期 3Q実績		前期差
売上高		2,816		3,055	+238
営業利益	(14.2%)	400	(11.3%)	346	▲54
経常利益	(13.7%)	385	(11.3%)	345	▲40
四半期 純利益	(9.4%)	264	(7.1%)	218	▲45



2.セグメント別売上高（対前年同期）

全社売上高は対前年同期比+8.5%成長。通期業績予想に対しては進捗率76.4%と着実に推移。
主力事業である信頼性評価事業は、信頼性試験及び断面研磨の受注が順調。パワーサイクル試験は主要顧客からの受注が好調に推移し、全体で対前年同期比+7.7%成長。
微細加工事業は、レーザ加工で試作品加工は堅調も、量産品加工の減収により微減。表面処理技術では主要顧客からの研究開発受注が好調に推移し、全体で対前年同期比+9.4%成長。
その他事業は、バイオの受託試験が好調に推移し、全体で対前年同期比+61.6%成長。



3.営業利益増減内容（対前年同期）

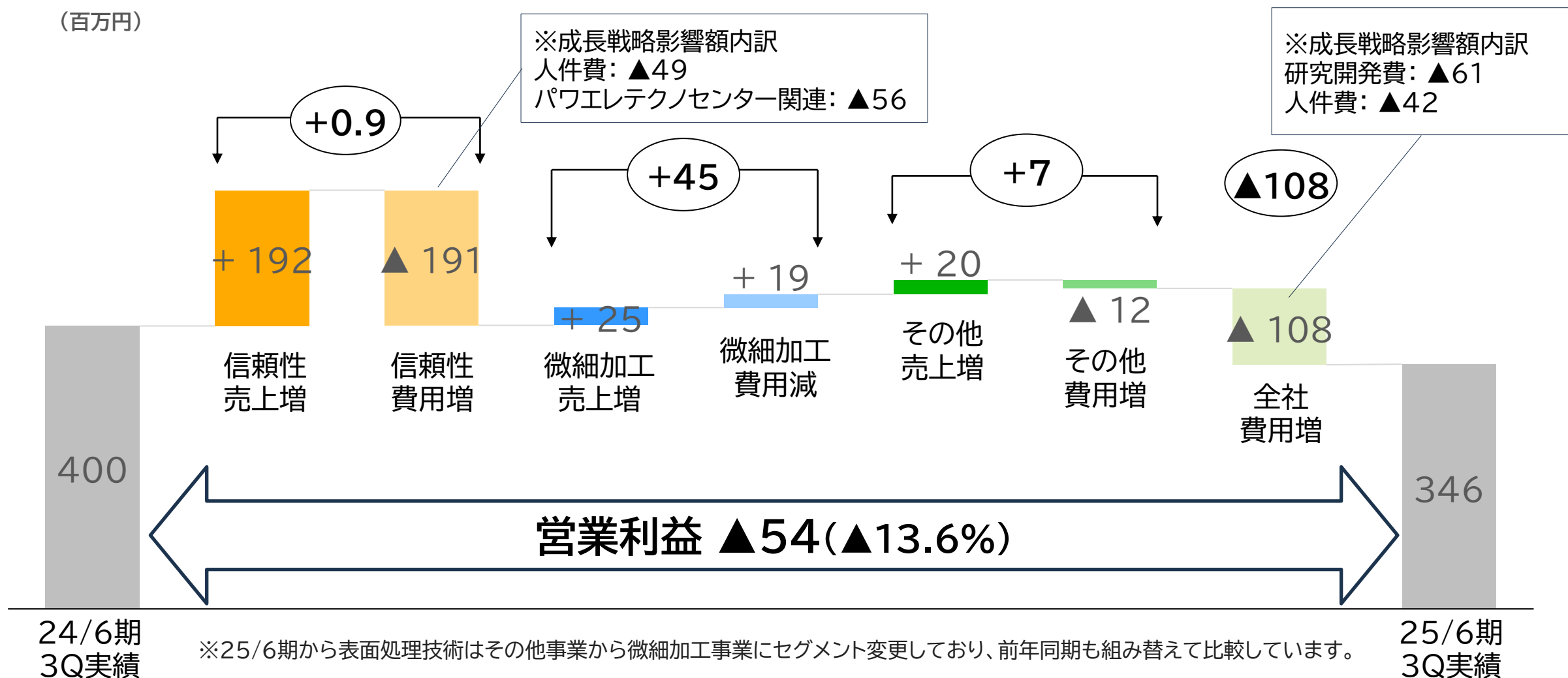
全社営業利益は対前年同期比▲54百万円の減益も、通期業績予想に対しては進捗率90.0%と着実に推移。

主力事業である信頼性評価事業は売上増も、成長戦略に向けた拡販体制強化及びパワエレクトクノセンター立上げによる影響で+0.9百万円の増益。

微細加工事業は売上増と減価償却費の減少により+45百万円の増益。

その他事業はバイオ受託試験の売上増により、費用増あるも+7百万円の増益。

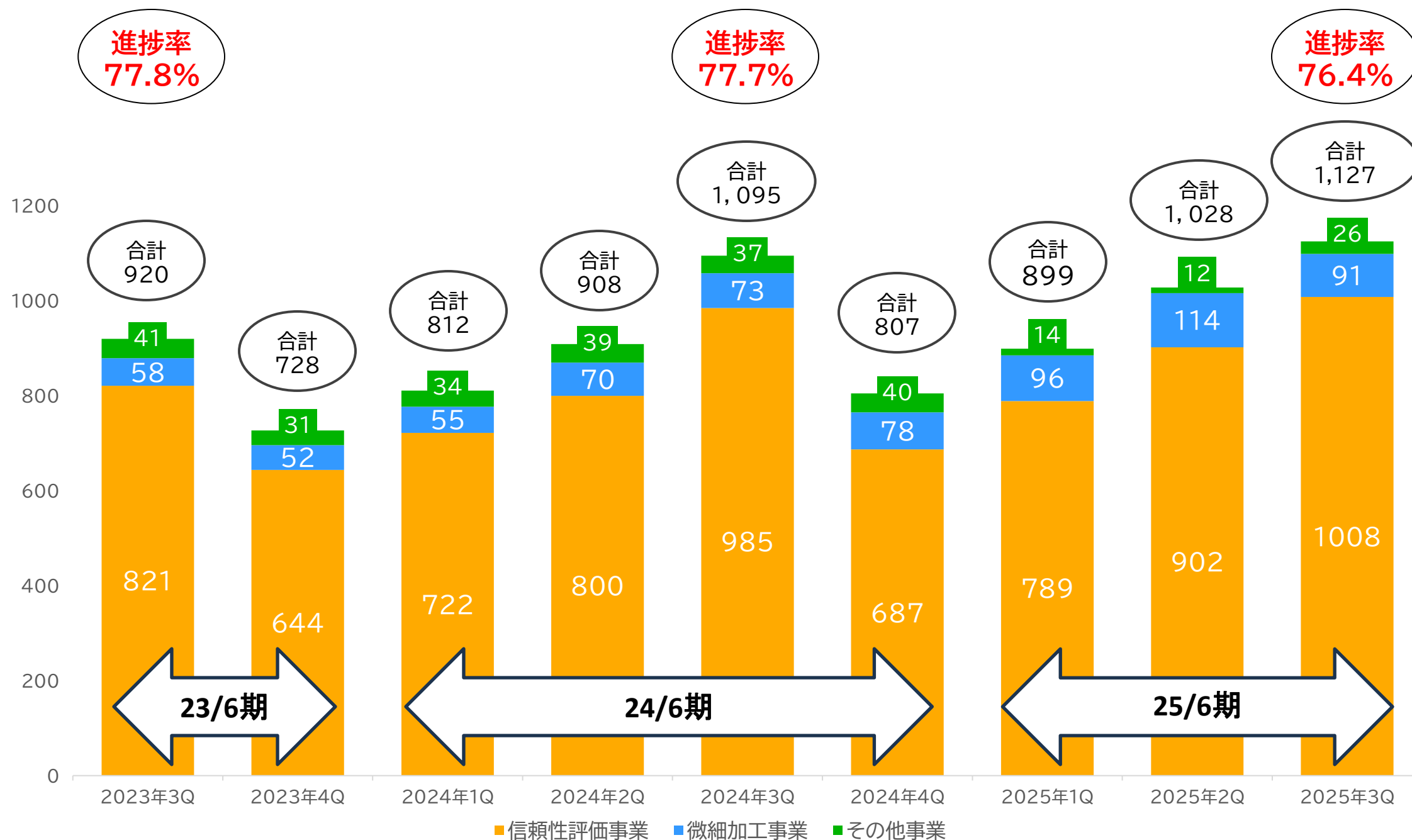
全社共通部門は営業を中心とした拡販体制強化、次世代半導体を中心とした研究開発の積極推進に伴う先行投資等により▲108百万円の減益。



4. 四半期売上高推移（セグメント別）

第3四半期単独では初の11億円超え、累計では初の30億円超えで通期業績予想に対し、順調に推移。

【単位:百万円】



※25/6期から表面処理技術はその他事業から微細加工事業にセグメント変更しております。

5.その他経営数値（対前年同期）



その他経営数値の状況は下記の通り。

【単位：百万円】（ ）内は売上高比

	24年6月期 3Q実績		25年6月期 3Q実績		前期差
総資産		4,249		4,161	▲88
純資産		3,152		3,275	+123
自己資本比率		74.2%		78.7%	+4.5%
現預金残高		1,879		1,493	▲385
設備投資		301		567	+266
研究開発費	(2.3%)	64	(4.1%)	126	+61
在籍人員(人)		235		254	+19

6.通期業績予想

通期業績予想に関して当社第4四半期に入り、主要顧客である車載業界を中心に、米国関税政策発動による業績見通しへの影響が顕在化し、今後の見通しについては予断を許さない状況ではあるが、各社技術開発の動向を注視しながら拡販活動を展開中であり、通期では当初業績予想(売上高、利益とも)を据え置き。

【単位:百万円】()内は売上高比

	24年6月期 通期実績		25年6月期 通期業績予想 今回(5/15)		前期差
売上高		3,623		4,000	+376
営業利益	(10.5%)	381	(9.6%)	385	+3
経常利益	(10.1%)	366	(9.2%)	370	+3
純利益	(7.5%)	270	(7.0%)	280	+9

7. 附録（注意事項）

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。

これら将来の見通しに関する記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されています。これらの記述は、将来の結果や業績を保証するものではありません。このような将来予測に関する記述には、必ずしも既知および未知のリスクや不確実性が含まれており、その結果、将来の実際の業績や財務状況は、将来予想に関する記述によって明示的または黙示的に示された将来の業績や結果の予測とは大きく異なる可能性があります。

上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内および国際的な経済状況の変化や、当社が事業を展開する業界の動向などが含まれますが、これらに限られるものではありません。

また、当社以外の事項・組織に関する情報は、一般に公開されている情報に基づいており、当社はそのような一般に公開されている情報の正確性や適切性を検証しておらず、保証しておりません。

assists your "thinking"

Qualtec

